

**笑顔いっぱい「なかよし旬間」** ~ 9日(水)校長講話 ~



中・島・さ・と・る  
と申します

「皆さんおはようございます。私の名前は、中島 敏と申します。どうぞよろしくお願い致します」（手話と併せて）

手話で自己紹介をしました。最近使っていませんでしたから、少し自信がありません。



おはようございます

- 「皆さん」は、手のひらを水平に動かします。
- 「おはようございます」は、寝ていた枕をとって、両手の人差し指を曲げてあいさつを示します。
- 「わたし」は、人差し指で、のどの下あたりの胸を指します。
- 「名前」は、名札に名前が書いてあるようなしぐさをします。
- 「中」は、漢字の「中」で表しました。
- 「島」は、左手を「ぐう」にして海の中の「島」を表し、右手で周りに波を添えます。
- 「さとる」は一文字ずつ、「さ」「と」「る」です。「あいうえお」すべて一文字ずつ表す指文字があります。

手話は、耳の不自由な方の会話の一つの方法です。あいさつは、人と人との心をつなぎます。手話で「こんにちは」をするだけで、耳の不自由な方が、笑顔で答えてくれます。皆さんも、人差し指を曲げるだけでも「こんにちは」の意味になりますので、覚えておいてください。

次に、ちょっと静かに聞いてください。時刻を知らせてくれる「時報サービス」です。お金がかかりますが、117をダイヤルすると教えてくれます。

今の言葉を確認します。

「午前8時30分10秒をお知らせします」ですね。

今から20年ほど前までは

「ただいまから、8時30分10秒をお知らせします」というアナウンスだったのです。「ただいまから」と言っていたところを、「午前・午後」という言い方に変えました。

なぜ変えたのか、わかりますか？ 皆さんは、今のこの明るさからすれば、

午前8:30  
ちょうどを  
お知らせします



午前と言わなくても午前8時と分かりますよね。でも、目の不自由な方の中には、うっすらと風景や文字が分かる方、明るさは大体分かる方も多いのですが、明るさをまったく感じられない方もいます。まったく明るさを感じられない方から、「午前、午後をつけてほしい」とのお願いがあり、電話会社が変わったのだそうです。新しいアナウンスは、皆さんには今まで通りに便利で、目の不自由な方にはとっても便利なアナウンスとなりました。

今、4年生は国語の勉強と合わせ、盲導犬に道案内をしてもらう方々と交流し、点字で文章を書いて気持ちを表したりする勉強もしていますね。視覚に障害のある方のお話が、学級通信に載っていました。

毎日、目が見えればいいなと思っています、しかし、目が見えないことを悲しいとは思いません。苦しいことがあった人ほど、強くなれると思います。地域の方、ボランティアの方の暖かい親切のおかげで、毎日元気に楽しく過ごしています。



そして、4年生の皆さんと学習した後、笑顔で帰っていかれました。4年生の皆さんも笑顔いっぱいでした。**人にやさしくできると、やさしくした人も、やさしくされた人も笑顔**になります。

**友達のよいところを見つけ、自分のよいところを見つけ、互いにできないことは助け合い・協力し合い、笑顔がいっぱいの「なかよし旬間」**になることを願っています。

## 最近の学校生活から



6年生の学級の皆さんが6月から丹精込めて育ててきた菊が満開になり、**菊花展**が行われています。りっぱに開いた大輪の菊を全校で楽しみに見えています。ご来校のお客様にも、とても好評です。

7日(月)6年の学級が**稲荷山養護学校との交流会**を行いました。2回目の交流会では「ジャンケン列車」「マルモリ体操」で楽しんだり、音楽会の曲を聴いてもらったりしました。心の通い合うひとときでした。



7日(月)**酒井美千代先生とのお別れ、太田仁子先生の紹介の式**を行いました。酒井先生、元気な赤ちゃんをご出産ください。太田先生には、3年生以上の音楽をご指導いただきます。よろしくお願ひします。